

PRESTO® W80

5 Lのガラス反応容器で
+20 °C から-60 °C間を冷却運転

目的

このケーススタディでは、PRESTO® W80 の冷却能力を5リットルのガラス反応容器でテストします。W80は1mのメタルチューブで接続、+20°Cから-60°Cに冷却するようにプログラムされています。

環境

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	230 V / 50 Hz

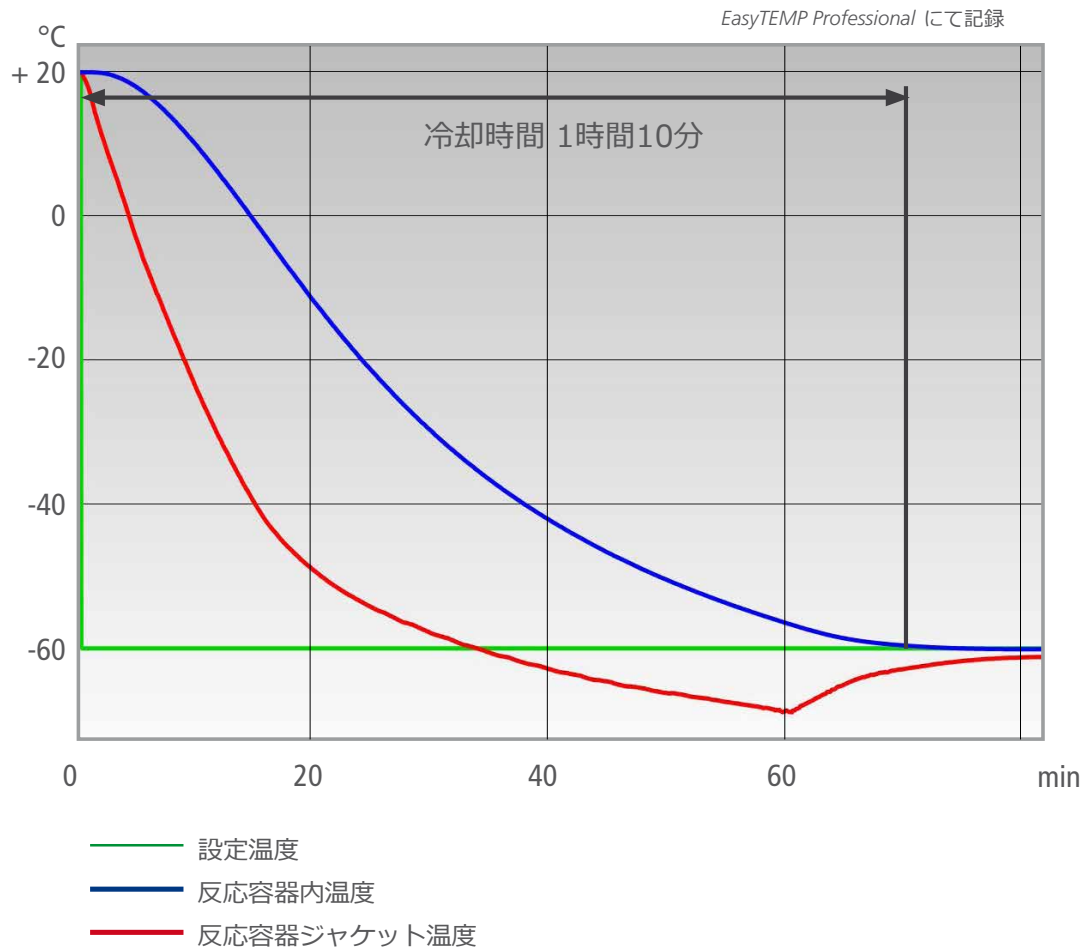
テスト条件

ユラボ装置	PRESTO® W80
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 1.2 kW -20 °C 1.1 kW
加熱能力	1.8 kW
バンドリミット	無し
吐出圧力	0.4 bar
循環液	ユラボ サーマルHL80
反応容器	5 Lガラス反応容器 (Rettberg社) に ユラボ サーマルHL80を5L充填
ジャケット容量	2.5 L
制御	外部温度制御 (ICC)



テスト結果

PRESTO® W80 の冷却プロセスは+20℃から-60℃まで1時間10分でオーバーシュートすることなく到達しました。



オプション機能
オプションの
エルボアダプター
を使用すると、
チューブが
ねじれません。



オプション機能
強健な
PTFEコーティングの
pt100センサーを
使用することが
できます。

